

料金後納
郵便



持続可能な社会のために

Process Free

本誌は、環境に配慮した「森林認証用紙」を用い、地球温暖化原因物質の一つとされている揮発性有機化合物を含まない「nonVOCインキ」を使用し、印刷工程から現像処理をなくし、化学薬品や水を使うことのない無処理版を採用しております。

ワタミの
でんき

みらいレター

2024年度
活動報告

発行：ワタミエナジー株式会社

RE100

ワタミは国内外食初
RE100加盟企業です

「みらいレター」は「ワタミのでんき」を供給するワタミエナジーの活動をご紹介しますお手紙です。地域電力と共に持続可能なみらいをめざしています。

Watami ENERGY NEWS TOP3

ワタミエナジーニュース2024

2024年度も、自然エネルギーをひろげていく使命にむかって活動を展開してきました。



1 小売電気事業10周年

当社は、2012年に秋田県にかほ市に風力発電を稼働するところから始まり、2014年に小売電気事業を開始し、お陰様で2024年に小売電気事業10周年を迎えることができました。これまで様々なチャレンジを続けてきました。お客さま、パートナー企業さま、アドバイザーの皆さまなど数多くの方々の存在とご支援の賜物であり、改めて深い感謝と共に心より厚く御礼申し上げます。

これまでの主な活動

- | | |
|-------|---|
| 2012年 | 秋田県にかほ市に風力発電を稼働 |
| 2014年 | 小売電気事業を開始・大分県臼杵市の森林再生事業に参画 |
| 2015年 | 北海道勇払郡厚真町・むかわ町でメガソーラーの稼働開始 |
| 2016年 | 大分県臼杵市で地域電力の「うすきエネルギー」の設立支援 |
| 2021年 | バイオマス発電所を大分県臼杵市で稼働開始 |
| 2022年 | 売上の1%を再エネ開発に投資する取り組み開始
ワタミ(株)が運営する「ワタミオーガニックランド(陸前高田市)」の
ソーラーシェアリング建設に投資し、発電を開始 |



2 J-クレジットの販売開始

2023年11月、当社は陸前高田市および公益財団法人Save Earth Foundation(本部：東京都大田区)と「森林資源の活用に関する連携協定」を締結しました。その連携事業のもと、今回のJ-クレジットが創出されました。陸前高田市で創出されたJ-クレジットは、2025年2月に販売が開始され1トン当たり15,000円(+手数料)で取引されます。この収益は、市内の森林再生や保全活動に幅広く活用され地域全体の持続可能な発展を支援します。

*J-クレジット制度における方法論の1つ「森林」の「森林経営活動方法論」とは、森林法に基づき市町村等に認定された森林経営計画に沿って適切に施業されている森林を対象とし、間伐等の適切な森林経営活動を実施することで、地上部・地下部バイオマスの炭素蓄積量が増加することや伐採された木材の利用に係る炭素固定による吸収量を確保し、その吸収量をクレジットとして換算します。



3 再エネ100% 拠点グループ内 5件目の導入

ワタミグループ「RE100」の目標実現に向け、2024年2月から兵庫県尼崎市にて、自社工場「ワタミ手づくり厨房」尼崎センターで使用する電力を「100%再エネ」に切り替えました。今後もRE100達成にむけて再エネの導入を推進してまいります。

ワタミエナジーが支援する地域電力

ワタミエナジーが立ち上げから運営の支援まで行っている地域新電力をご紹介します



地域を
元気に！



飛騨高山電力
HIDATAKAYAMA ELECTRIC POWER.CO

HTEP

再エネの地産地消と地域経済循環を目指す

飛騨高山電力株式会社(HidaTakayama Electric Power 略称：HTEP、読み：ホテップ)は地域内の小水力発電所や木質バイオマス発電所など自然エネルギーの地産地消によって高山市の2050年ゼロカーボンを目指して立ち上げられた地域新電力会社です。

岐阜県高山市は、2023年11月の第4回脱炭素先行地域※1に選出されています。地域資源を活用した地域協働型小水力発電を整備する飛騨高山モデルを推進するとともに、事業で得られた収益の一部を地域におけるまちづくりの取組などの原資とすることにより、地域サービスとして還元します。2028年度までに小水力発電所10基、バイオマス熱電供給3基の新設ほかを予定しています。飛騨高山電力株式会社は共同提案者の一員として、それらの電力を従来より安い電気料金で地元の家庭などに供給することで、再エネの地産地消と地域経済循環の実現を目指しています。

※1:脱炭素選考地域とは

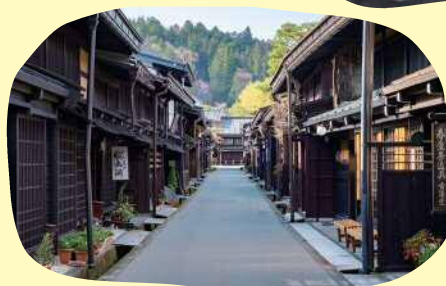
脱炭素先行地域とは、2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門(家庭部門及び業務その他部門)の電力消費に伴うCO₂排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても、日本国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域で、「実行の脱炭素ドミノ」のモデルとなる地域です。(参照：環境省HPより)



HTEP 代表取締役 井上博成様



HTEP 企画課 課長 森本創様



趣のある飛騨高山の街

飛騨高山電力株式会社
代表取締役 井上 博成
〒506-0022 岐阜県高山市西町7-1番地
電話：0577-77-9445

グループニュース2024

NEWS

ワタミグループ40周年！

「地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになろう」という思いのもと走り続けて、私たちワタミは40周年を迎えることができました。これまで支えてくださった皆様への感謝をお伝えするとともに、これからも、より多くの「ありがとう」を集めるために社員一丸となって「飽くなき挑戦」を続けていきます。



NEWS

「SUBWAY」事業を展開へ

ワタミ株式会社は2024年10月25日に、国内で「SUBWAY」事業を展開するための、マスターフランチャイズ契約を締結いたしました。日本サブウェイ合同会社の持分を取得し、同社を完全子会社化しました。今後は、ワタミが日本における「SUBWAY」事業の展開を行ってまいります。



NEWS

「ワタミdeおいしい健康」で 食事療法に本格参入

「ワタミの宅食」は、糖尿病や高血圧などの食事管理でお困りの方へ向けた調理済み宅配弁当「ワタミdeおいしい健康」を、株式会社おいしい健康と共同で開発し、2024年12月2日より本格販売をスタートしました。



ワタミエナジー自然エネルギー発電量 2024年1月～2024年12月



風力発電

4,305,338kWh

●秋田県にかほ市「風民」

太陽光発電

882,156kWh

●相模原、日高、東松山、丹波、岩国、尼崎の全6機

自然エネルギー導入に興味のある方は

ワタミエナジー まで **TEL:03-5737-7104**

ワタミエナジー株式会社

東京都大田区羽田一丁目1番3号(〒144-0043)

<https://watami-energy.jp/index.html>



ワタミのでんきは、電気料金の1%を
自然エネルギーに投資しています



公式サイト